

意見書案第1号

令和元年12月12日

木古内町議会
議長 又地信也様

提出者	木古内町議会議員	手塚	昌宏
賛成者	木古内町議会議員	鈴木	慎也
賛成者	木古内町議会議員	吉田	裕幸

日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書
(案)

上記の意見書案を会議規則第14条第1項及び第2項の規定により、別紙
のとおり提出する。

日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書（案）

防衛省は4月、米軍普天間飛行場（沖縄県）の米海兵隊輸送機MV22オスプレイの訓練移転を、2020年1月から3月の期間に道内で行う日米共同訓練「ノーザンバイパー」で計画していることを明らかにした。

オスプレイは墜落事故を繰り返し、他の米海兵隊運用機より重大事故率が高い輸送機であり、ひとたび墜落事故が起きれば道民の生命と財産が犠牲となる。また、昼夜を問わず低空飛行を繰り返すオスプレイの騒音は凄まじく、酪農業への影響や環境破壊など、平穏な日常生活に多大な影響をもたらすことは必至であり、そのようなオスプレイの訓練参加は許しがたく、断じて認めることはできない。

さらに、国境に接する北海道において、米海兵隊と自衛隊の約3,000人が参加し、オスプレイが広域的に飛行する大がかりな日米共同訓練は、隣国ロシアを刺激しかねず、北方領土問題の解決という私たちの悲願を大きく後退させるものである。

よって、国においては、国民の生命・財産及び安心・安全な生活を守るため、日米共同訓練の規模縮小とオスプレイの参加を中止することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、提出する。

2019年12月12日

北海道上磯郡木古内町議会
議長 又 地 信 也

【提出先】 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、外務大臣、防衛大臣、